



ゆくさ、おさいじゃした!

桜島



第5号

2015年6月13日

【発行】

実行委員会事務局

【スローガン】国民と広く連帯し、患者・地域住民と医療・福祉労働者の人権・生命の尊厳を守ろう



◆ 済生会新潟病院労組
丸山規子さん
第7分科会・医療政策と
看護労働に参加
看護師をとりまく情勢
が大変になってきている
のを実感しました。私た

参加者 インタビュー

分科会の感想をお
聞かせください。



◆ 千葉陽子さん（山梨民
医労）第1分科会へ参加
各県で実施をしている
福島県の被災者の受け入れ
と被災者検診の取り組み
について、自分たちの県
や組合でも行いたいとい
前から考えていたが、そ
の具体的な取り組み方法
のヒントとなる報告があ
り、これから先の自分た
ちの実践に生かしていき
たいと思います。山梨に
帰ったがんばります！

ちの病院では、「7対
1」を導入した当時、夜
勤協定と休日や年休消化
率目標（60%以上）を
根拠にした定数協定を結
び、それを守ってきたこ
とで夜勤月8日以内など
を順守しています。労働
組合が強かったというこ
との結果だと思っていま
す。全国各地の病院で、
職場を基礎に労働組合が
強くなって働きやすくな
る状況を広げたいです
ね。特定行為研修制度の
課題でも多くの意見を聞
くことができたので、単
組に持ち帰り、看護師が
不利益を受けないよう労
使協定を結べるようにし
たい。

【題字写真】知覧・武者屋敷

薩摩藩では領地を113の地区
にわけて、「麓」と呼ばれる
武家集落を作り、武士団を集
結させることなく分散して統
治にあたらせた。知覧の武者
屋敷もその一つ。石垣と生垣
に当時の面影が残る。



遠藤友紀さん（山梨民
医労）第1分科会へ参加
分科会のテーマだけに
とどまらず、国民健康保
険、生活保護、福島の問
題など、とても幅広い内
容の事例・発表を聴くこ
とができました。とても
勉強になりました。

動く分科会 レポート

川内原子力発電所・知覧特攻平和会館 見学 平和と原発問題を考える



動く分科会には38名
が参加して、知覧特攻平
和会館と九州電力原発資
料館を見学し、川内原発
再稼働に反対する久美崎
海岸テント村で交流する
など、平和と原発問題で
学び、交流する場となり
ました。安倍政権が戦争
法案や原発再稼働で暴走
するもとの分科会とな
り、参加者からは、戦争
する国づくりや原発再稼
働を絶対に許さない決意
が語られました。



1分科会

第1分科会（医療・福祉）
「権利としての社会保障」を否定し、「金で買う社会保障」に変え、医療を新しい産業の柱にしようとする政府の社会保障一体改悪。こうした中で医療過疎と呼ばれる地



域で、医療・福祉を守り発展させる様々な取り組み、地域住民アンケートや被災者健診など様々な運動交流が行われた。



2分科会

第2分科会（救急医療からみた地域包括ケア）

在宅での看取りを支える診療、訪問看護・リハビリを加えた在宅系事業というテーマで交流。亡くなる直前までデイケアに通えた症例、地震に際しての防災対策を通しての人とのつながりなどの報告があった。病院・診療所や介護事業者との間



3分科会

第3分科会（健診・地域での健康づくり）
良くない生活習慣を排除し、良い生活習慣をすすめることが予防。様々な現場での実践、職場の健康づくり、班ぐるみの健康づくり運動の報告。実技として、「足指力計測定」と認知症予防・転倒防止予防のデュアルタスク法「すつきりはればれ体操」が紹介され楽しく交流。

で地域ネットワークの確立が重要と確認。

◆市民フォーラム◆

広がる格差と貧困

～子どもの貧困問題を考える～



深刻な子どもの貧困問題を市民ともに考えようと約80名が参加し討論が行われました。

◆コーディネーター

玉江末広さん

（鹿児島生協病院・小児科医師）

◆パネリスト

下之蘭優貴さん

（白鳥法律事務所・弁護士）

福本竹虎さん

（県立高校・教諭）

徳永王朝さん

（鹿児島生協病院・小児科医師）

天羽浩一さん

（社会福祉士）



第4分科会（看護ケアの質）
乳がん・排泄ケア・緩和ケアの認定看護師の連携で看護を行った実践、不安の強い患者へのタッチングを通しての看護、医療を受けるときの様々な不安や恐怖感を予防したり緩和したりするなど実践、患者・家族に寄りそった終末期の医療・

看護・介護実践など看護現場におけるケアの質向上のとりくみ交流が行われた。

4分科会

